

## 第5回柴又地域学校改築懇談会のまとめ

### ●開催日時

令和6年4月25日（木曜日） 19:00～20:00

### ●内容

1. 会長挨拶
2. 施設規模、地域の拠点となる学校づくりについて
3. 今後の進め方
4. 意見交換

### 柴又小学校単独改築、柴又地域一連の学校改築における施設規模について

		柴又小学校単独改築 (柴又小学校敷地建築)	柴又地域一連の学校改築	
			柴又小学校敷地に新校舎	東柴又小学校敷地に新校舎
仮校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	約1,210㎡ (約3,420㎡)	(東柴又小学校敷地に増築) 約850㎡ (約1,700㎡)	(柴又小学校敷地に増築) 約550㎡ (約1,100㎡)
	校庭面積	0㎡	約2,800㎡	約1,600㎡
新校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	3階建て 約2,600㎡ (約7,000㎡)	3階建て 約3,000㎡ (約8,000㎡)	4階建て 約2,350㎡ (約8,000㎡)
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡

※東柴又小学校敷地に新校舎を建てる場合、学校プールの地域開放の在り方については、今後検討する。

### 柴又地域一連の学校改築における防災機能について

- ・避難所としては小学校1校分の減になるが、体育館を2階以上に設置して浸水時の避難者収容人数を現在より増やす見込みである。
- ・新校舎では、太陽光パネルや蓄電池などの設備を導入するとともに、エレベーターの設置などバリアフリーに対応した施設とする。

### 各学校の歴史・文化の継承について

- ・各学校の歴史や文化について紹介し、継承方法は改築方針に合わせて今後の懇談会で検討・議論する。

### 意見（要旨）

- ・校庭が広くとれるなら、統合新校舎は東柴又小学校に建てたほうがいい。
- ・統合後は避難所が1か所減るので、跡地を避難所として活用してほしい。  
→（区からの回答）  
防災担当部署などとも協議し、跡地活用については今後検討していく。

# 柴又地域学校改築懇談会 ～第6回～

令和6年5月30日（木）

葛飾区  
葛飾区教育委員会

## 本日の内容

※本資料中の「柴又地域の学校」は柴又小学校・東柴又小学校・桜道中学校を指します

### 【本日のテーマ】意見交換・まとめ

柴又地域の一体改築案において、  
今までの区からの説明や懇談会での意見交換を踏まえて、  
改めて意見交換をする。

### 【本日の進め方】

- (1) アンケート結果
- (2) 今までのおさらい
- (3) 議論・意見交換
- (4) 今後の進め方

## (1) アンケート結果

---

### 教育環境について

新しい意見なし。

### 望ましい学級数について

新しい意見なし。

# (1) アンケート結果

## 施設規模、地域の拠点となる学校づくりについて

### 【新しいご意見】

- 統合となった場合、東柴又小学校のほうが校庭が広くとれるが、柴又小学校のほうが南向きで日当たりがよい。
- 東柴又小学校は土手が近く、花粉や水害のリスクが懸念。
- 東柴又小学校に統合校舎を建設したほうが良い。東柴又小学校であれば4階建てが可能で、校庭面積が広く運動会を行うにも余裕がある。
- 統合した場合、今まで3か所あった避難所が2か所になるとの説明であったが、跡地に建設する施設も避難所として対応できるようにし、今までどおり3か所にしてもらいたい。

## (2) おさらい

---

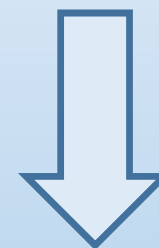
# 柴又地域の新たな学校づくりの3つの柱

- 工事中の教育環境への影響低減
- 未来を見据えた教育環境の整備
- 地域の拠点となる学校づくり

## (2) おさらい —柴又地域の改築案—

(A案) 柴又小学校単独改築

柴又地域一連改築



(B案) 柴又小学校敷地に統合校

(C案) 東柴又小学校敷地に統合校

それぞれの状況・メリット等については、別紙1・2参照

### (3) 議論・意見交換

---



## (4) 今後の進め方

### 報告書作成・提出

事務局にて以下の資料を懇談会報告としてまとめ、区・教育委員会に提出いたします。

- ① 懇談会意見のまとめ
- ② これまでの懇談会のまとめ
- ③ 懇談会配布資料

⇒ 「① 懇談会意見のまとめ」については、懇談会の意見がまとまり次第、開催通知と一緒に委員の皆様へ送付いたします。  
懇談会で内容を最終確認し、報告書として確定予定です。

## (4) 今後の進め方

### 質 疑

以下のいずれかで、可能な限り具体的にお願いいたします。

(1) 専用入力フォーム

右側のQRコードをスマホ等で読み取り、  
入力をお願いいたします。

(2) 質疑票をFAX

本日の配布資料にある質疑票にご記入のうえ、  
03-5698-1536 までFAXを送付ください。

(3) 期限

6月9日(日)までにいただいたものは、次回懇談会で共有いたします。



# 次回以降の懇談会ご案内

## 開催予定

### (1) 日時

①第7回 令和6年6月18日（火曜日）

②第8回 令和6年7月16日（火曜日）

### (2) 場所（各回共通）

柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

### (3) 内容

柴又地域学校改築に関する意見交換（続き）

※ 進捗状況などにより、日程の変更が生じることがあります。

## 柴又地域学校移転・改築の流れ

**(B案) 柴又小学校敷地に新校舎①**

各時期は、令和6年7月までに方向性がまとまった場合

&lt;小学校&gt;



1

**(B案) 柴又小学校敷地に新校舎②**

各時期は、令和6年7月までに方向性がまとまった場合

&lt;桜道中学校&gt;



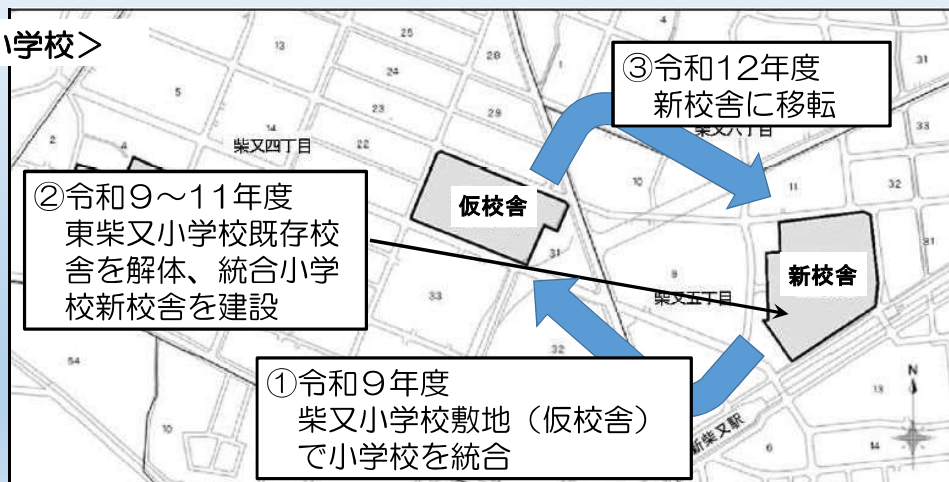
2

# 柴又地域学校移転・改築の流れ

## (C案) 東柴又小学校敷地に新校舎①

各時期は、令和6年7月までに方向性がまとまった場合

<小学校>



3

## (C案) 東柴又小学校敷地に新校舎②

各時期は、令和6年7月までに方向性がまとまった場合

<桜道中学校>



4

# 柴又地域学校改築案比較表

		柴又地域一連の学校改築		
		(A案) 柴又小学校単独改築	(B案) 柴又小学校敷地に新校舎	(C案) 東柴又小学校敷地に新校舎
施仮設校規舎模の	工期	6か月	5か月	
	配置図			
	建設地	柴又小学校敷地	東柴又小学校敷地	柴又小学校敷地
	建築面積 (延床面積)	約1,210㎡ (約3,420㎡)	約850㎡ (約1,700㎡)	約550㎡ (約1,100㎡)
	校庭面積	0㎡	約2,800㎡	約1,600㎡
施新設校規舎模の	工期	42か月 (既存・仮設校舎解体等含む)	34か月 (既存校舎解体等含む)	
	配置図			
	建築面積 (延床面積)	約2,600㎡ (約7,000㎡) 3階建て	約3,000㎡ (約8,000㎡) 3階建て	約2,350㎡ (約8,000㎡) 4階建て
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡

# 柴又地域学校改築案比較表

		(A案) 柴又小学校単独改築	柴又地域一連の学校改築		
			(B案) 柴又小学校敷地に新校舎	(C案) 東柴又小学校敷地に新校舎	
教育環境	工事の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭での体育授業や外遊び等が制限</li> <li>全工事期間で騒音や振動の影響あり</li> <li>児童動線と工事車両の動線が交錯</li> </ul>	仮校舎建設地については建設期間のみ、騒音や振動の影響あり		
	生活環境	仮設校舎、新校舎への引越しのタイミングで環境変化あり			
	学級数	12学級	18学級		
	仮校舎	建物規模	既存校舎の一部（3階建て） + 仮校舎（3階建て）	既存校舎（3階建て） + 仮校舎（2階建て）	
		校庭面積	0㎡	約2,800㎡	約1,600㎡
	新校舎	建物規模	3階建て	3階建て	4階建て
		校庭面積	約2,500㎡ (現在の柴又小学校と同等以上の面積)	約2,300㎡ (現在の柴又小学校と同等の面積)	約5,600㎡ (現在の東柴又小学校の1.5倍以上の面積)
	通学区域 通学路	変化なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部児童は通学距離が長くなる</li> <li>柴又街道を横断する児童が増える</li> <li>仮校舎、新校舎への引越して柴又街道を横断する児童数が変化</li> </ul>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>東柴又小学校で、将来的に単学級の学年が発生する可能性がある</li> </ul>	———			
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所は現行どおり（3校）だが、東柴又小学校・桜道中学校の体育館など、一部浸水の恐れがある避難居室がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所は2校（統合小学校・桜道中学校）になるが、浸水時も使用可能な避難居室（2階以上）の面積が増え、設備の更新もされる</li> </ul>			

# 柴又地域学校改築案比較表

<参考> 桜道中学校改築比較

		(A案) 柴又小学校単独改築	柴又地域一連の学校改築	
			(B案) 柴又小学校敷地に新校舎	(C案) 東柴又小学校敷地に新校舎
施新設校舎模の	工期	78か月（既存校舎解体等含む）	34か月（既存校舎解体等含む）	
	配置図			
	建築面積 (延床面積)	2,400 ~ 3,000㎡（約8,000㎡）		
	建物規模	4階建て または 4階建て（一部3階建て）		
教育環境	工事の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭での体育授業等が制限</li> <li>全工事期間で騒音や振動の影響あり</li> <li>生徒動線と工事車両の動線が交錯</li> </ul>	工事の影響なし	
	生活環境	校舎引越しのタイミングで環境変化あり	仮設校舎、新校舎への引越しのタイミングで環境変化あり	
	通学路	変化なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮校舎運営期間中、現在の東柴又小学校まで通う</li> <li>仮校舎運営期間中、柴又街道を横断する生徒が増える</li> <li>仮校舎、新校舎への引越して柴又街道を横断する生徒数が変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮校舎運営期間中、現在の柴又小学校まで通う</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>柴又地域学校改築懇談会での桜道中学校に関する検討範囲は、仮校舎がどこになるかというところまで</li> <li>区が考える柴又地域一連の学校改築になった場合、敷地内のどこに新校舎を建てるかなどの詳細は、今後桜道中学校改築懇談会を設立（令和10年度想定）して検討。</li> </ul>			



# 第3回柴又地域学校改築懇談会のまとめ

## ●開催日時

令和6年2月28日（水曜日） 19:00～20:00

## ●内容

1. 会長挨拶
2. アンケートの結果報告について
3. 教育環境について
  - ① 工事に付随する課題
  - ② 新校舎での教育環境
  - ③ 柴又街道横断時の安全確保
4. 意見交換



## 区を考える建て替え方法

### ステップ1:小学校の改築

- ①柴又小学校・東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に新校舎を整備する。
- ②新校舎工事中は新校舎を整備しない方の学校を統合した小学校の仮校舎として使用する。
- ③新校舎完成後に引っ越し、統合した小学校として運営開始。

### ステップ2:中学校の改築

- ①統合した小学校が仮校舎として使用していた小学校校舎を中学校の仮校舎として使用するため、引っ越し、仮校舎で運営する。
- ②引っ越し後、中学校の既存校舎を解体し、新校舎を建設する。
- ③新校舎完成後に引っ越し、運営開始。

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

### (案2) 柴又地域一連の学校改築の工程

#### ステップ1：小学校改築

#### <小学校統合の場合>



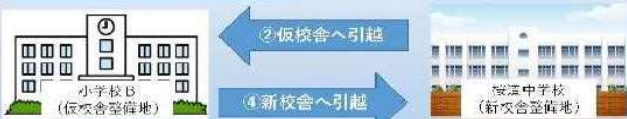
- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ① 現行どおり学校運営     | ① 仮校舎として整備工事、現行どおり学校運営 |
| ③ 既存校舎解体・新校舎建設  | ③ 統合小学校仮校舎として運営        |
| ⑤ 統合小学校新校舎として運営 | ※ 学校改築の流れは、次スライドへ。     |

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

### (案2) 柴又地域一連の学校改築の工程

#### ステップ2：中学校改築

#### <小学校統合の場合>



- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| ① 小学校Bが空いた後、横道中学校仮校舎として改修工事 | ① 現行どおり学校運営     |
| ③ 横道中学校仮校舎として学校運営           | ③ 既存校舎解体・新校舎建設  |
| ⑤ 横道中学校新校舎として運営             | ⑤ 横道中学校新校舎として運営 |

第2回懇談会において事務局より提案のあった ①教育環境 ②望ましい学級数 ③施設規模、地域の拠点となる学校づくりをテーマに今後の懇談会で意見交換していくことを確認しました。

第3回では、第2回での意見やアンケートの結果報告と教育環境をテーマに意見交換を行いました。

## アンケートの結果・回答

○学校敷地以外の場所における仮設校舎の整備について

他の場所も検討しましたが、敷地面積、児童の通学距離など考慮した結果、通学区内やその近隣において、学校整備に合致する敷地がないのが現状です。

○避難所が減ることについて及び両小学校の地域の文化の継承について

避難所の収容規模や歴史・文化の継承については第5回懇談会にて意見交換を行います。

## 工事中の教育環境についての意見交換（要旨）

（意見）

○柴又地域一連の学校改築の場合、仮校舎でも新しい学校でも柴又小学校と東柴又小学校の児童が入れるだけの教室数が確保できるのか心配。

○柴又小学校、東柴又小学校が統合したら両校の児童約600人が同じ学校に通うことになり、工事期間中は校庭が狭くなると思うので運動できる空間を確保してほしい。

（区からの回答）

○区を考える建て替え方法において、仮校舎、新しい校舎いずれにおいても、敷地を有効に活用し児童数に応じた規模の校舎を整備します。

○仮校舎は、既存の校舎を活用し、足りない教室分だけ仮設校舎を整備しますので、校庭全てを仮設校舎で利用する予定はありません。よって、現状よりは多少狭くはなりますが運動できる空間は確保してまいります。

## 通学路の安全確保についての意見交換（要旨）

（意見）

○2つの小学校が1つになったら柴又街道を横断する児童が増えるので、交通誘導員を増やすなど、安全対策をしっかりとってほしい。

（区からの回答）

○過去5年間で柴又街道を横断する通学路において児童の事故は発生していないことは警視庁に確認していますが、現在配置している交通誘導員の増員を行うなど、学校、警察などと協議をしながら児童の安全確保を図ってまいります。

## 第4回柴又地域学校改築懇談会のまとめ

### ●開催日時

令和6年3月28日（木曜日） 19:00～20:00

### ●内容

1. 会長挨拶
2. 望ましい学級数について
3. 意見交換

### 柴又地域における人口・児童数の推移について

- ・平成23年と令和5年の人口推移を比較すると、就学前の年代の減少率が大きい一方で、50代や80代以上の年代は増加率が大きい。また、柴又地域の人口構成を区内全域と比較すると、就学前の年代と30・40代の減少率が大きい。
- ・1歳から6歳までの住民登録者数は減少しており、このままの人数で推移すると、東柴又小学校では35人で単学級になる学年が発生し、区が考える適正学級数である12学級を将来下回る可能性がある。
- ・未就学児及び入学後の児童は、若干の転出（減少）傾向である。

### 柴又小学校、東柴又小学校を統合した場合の想定規模について

- ・令和8年度に仮校舎で運営することを想定した場合、各学年3学級で合計18学級となる見込みである。
- ・柴又小学校又は東柴又小学校のいずれかの学校を仮校舎とする場合、現在の校舎だけでは教室数が不足するため仮校舎の増築が必要となるが、小規模な仮校舎のため校庭全てを仮校舎で利用することはない。
- ・東柴又小学校では、令和11年度の児童数が1年生で35人の単学級となり、2年生から5年生の各学年でも転出などが発生すると単学級になる可能性がある。
- ・柴又小学校と東柴又小学校を統合することで各学年が3学級の児童数になり、区が望ましいとする18学級を維持できる。

### 意見交換（要旨）

#### <意見>

- ・小学校を統合した場合、現在より1学級当たりの児童数が増えて職員の目が行き届きやすいなどの少人数学習の良さが損なわれる。
- ・小学校を統合すると、18学級になることで教職員の数が増えてイベントなどの職員負担が軽減できる。
- ・1学年あたりの学級数が増えることにより、児童への配慮や運用の幅が増える。

#### <質疑>

- ・改築すると人気が出るのではないかと。受入児童の人数は大丈夫なのか。
- （区からの回答）

柴又・東柴又小学校の通学区域内児童に加え、通学区域外の児童が入る余裕も持っている。